

学校法人 尚綱学園 広報誌
SHOKEI EDUCATIONAL INSTITUTION
PUBLIC INFORMATION

礎

ISHIZUE

2004. Autumn vol.03

礎 連載コラム 心の話二題 | ③

ある空港での出来事です。

五月の連休、長い飛行機の旅のあと、人々はロビーで海外でのお土産がたくさん買ったトランクや荷物を受け取り、急ぎ足に家路に会社に向かって行く。

その中にトランクに腰をかけてぼんやりと佇んでいるひとりの老紳士がいた。傍らの人が心配して「どうなされたのですか。ご気分でも悪いのですか。」と尋ねると老紳士曰く

「私は長い旅をして空港に着いたばかりです。

お陰様で無事からだと荷物は今、日本に帰ってきました。

しかし一緒に楽しい旅をしてきた心はまだここに着いていません。心が辿り着くのを待っているところです。」

インドでの話です。

ある人が、大そう高価な宝石をたくさん持っていました。

ある晩強盗がその人の家に入り「その宝石をよこせ」と脅しました。

その人は「ああ、いいよ」と言っただけで渡しました。

ところがしばらくすると同じ強盗が戻ってきました

「これを返す」と言っただけで宝石を返しました。

「ああ、そうか。じゃ何か代わりに欲しいものがあるか。」と聞きました。

すると強盗は「これだけ高価な宝石を人にやっておきながら

ちっともそれを惜しがらないお前の心が欲しい。」と言ったという話です。

